

モデル事業から県事業へ

広葉樹材活用支援の取組



令和7年1月17日(金) 神奈川県県央地域県政総合センター
里山管理研修～里山再生 身近な森の有効活用～

神奈川県県央地域県政総合センター
森林部森林保全課 安居院 芳子

1

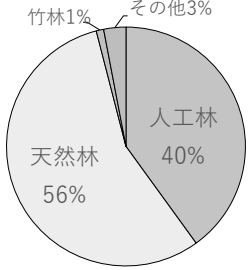
神奈川県の広葉樹資源

○神奈川県地域森林計画書(令和6年3月)より

林相別構成表(対象森林)

単位 面積: ha 構成比: %

区分	人工林	天然林	竹林	その他	計
森林面積	31,366	44,236	624	2,796	79,022
構成比	40	56	1	3	100



神奈川県林相別構成表(面積割合)

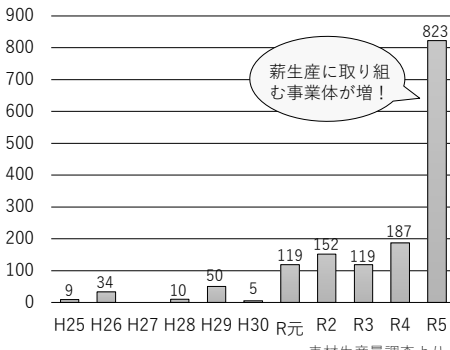
区分	面積(ha)	構成比
人工林	31,366	41%
天然林	44,236	59%

区分	材積(千m ³)	構成比
人工林	13,049	67%
天然林	6,467	33%

2

神奈川県の広葉樹資源

広葉樹材の搬出量 (m³)



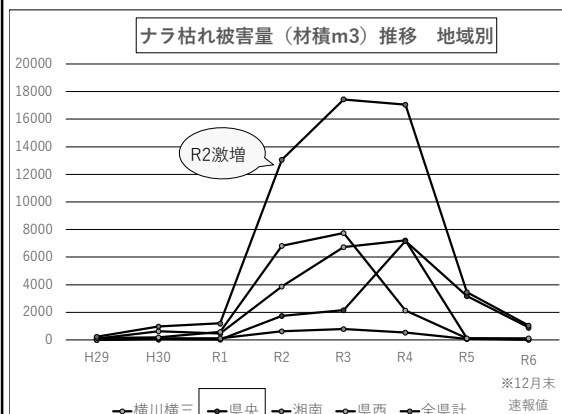
・令和4年度までは、県全体の木材生産量約3万m³の1%未満
 ・ここ数年は、少しずつ搬出量が増えている
 ・令和5年度は、大幅に増加。広葉樹薪の生産に取り組む林業事業体が増えたため

里山の広葉樹林は、昭和30年代後半の「エネルギー革命」以前は、日常的に利用されていたものの、その後約60年間放置されてきた

3

きっかけは「ナラ枯れ」

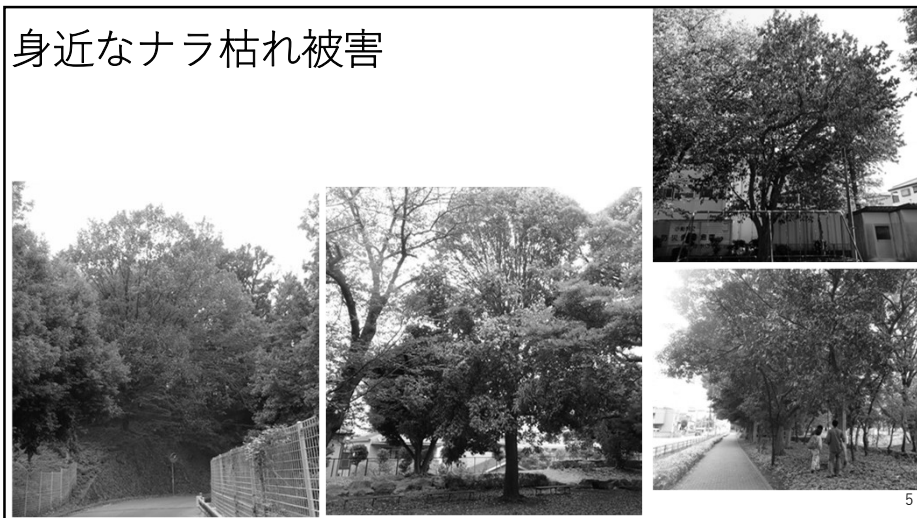
ナラ枯れ被害量(材積m³)推移 地域別



※12月末速報値

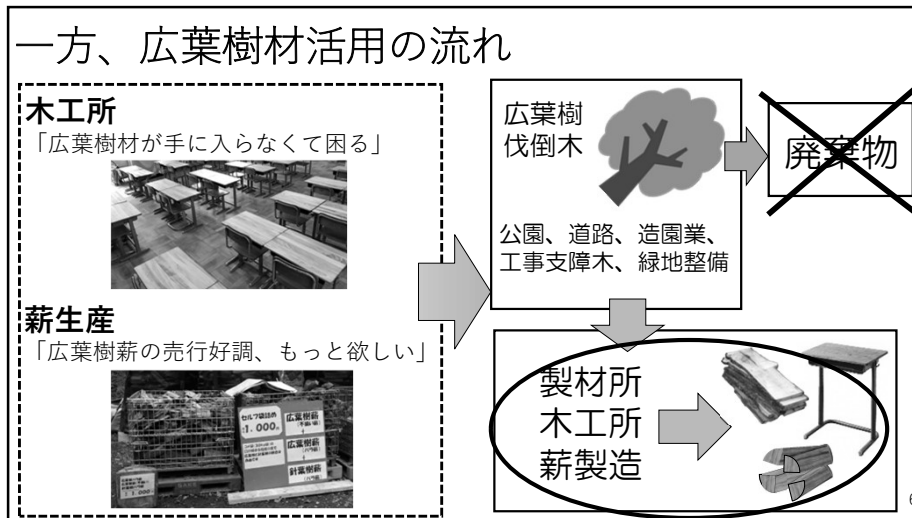
4

身近なナラ枯れ被害



5

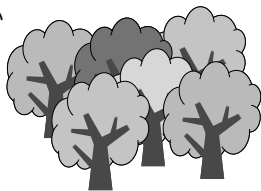
一方、広葉樹材活用の流れ



6

広葉樹材活用の課題

- ① 広葉樹材が活用できる「資源」という認識が無い
- ② 流通が確立されておらず、売り方が分からない
 - ・ 県内唯一の市場でも、ほとんど受け入れてもらえない
 - ・ 受入先を知らない
 - ・ どんな材が必要とされているか分からない
 - ・ 取引できる太さや規格が分からない
 - ・ ナラ枯れは活用できないのでは？
- ③ 針葉樹の搬出運搬には補助金があるけど広葉樹にはない

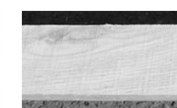
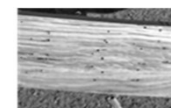


7

7

課題①「資源」という認識が無い

- (1) 研修会の開催
「令和4年度県央地域ナラ枯れ被害及び被害材活用研修会」
- (2) 活用広葉樹調査
市町村の緑地管理部局、県森林管理部局に広葉樹の伐採情報を照会し、林業事業者へ情報提供
- (3) ナラ枯れ材の製材試験



8

8

課題② 売り方が分からない

- ・チラシの作成、配布、HP公開



広葉樹材
を受け入れます

R3チラシ
(2社)

現在のチラシ
(6社)



広葉樹材を受け入れます

名称	特徴	利用の形態	受入先
① 山形県 広葉樹材利用促進センター	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	山形県 広葉樹材利用促進センター 〒980-0801 山形市青葉区 Tel: 024-649-0222 Fax: 024-649-0222 http://www.wideopen.jp
② 山形県 広葉樹材利用促進センター	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	山形県 広葉樹材利用促進センター 〒980-0801 山形市青葉区 Tel: 024-649-0222 Fax: 024-649-0222 http://www.wideopen.jp
③ 山形県 広葉樹材利用促進センター	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	山形県 広葉樹材利用促進センター 〒980-0801 山形市青葉区 Tel: 024-649-0222 Fax: 024-649-0222 http://www.wideopen.jp
④ 山形県 広葉樹材利用促進センター	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	山形県 広葉樹材利用促進センター 〒980-0801 山形市青葉区 Tel: 024-649-0222 Fax: 024-649-0222 http://www.wideopen.jp
⑤ 山形県 広葉樹材利用促進センター	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	山形県 広葉樹材利用促進センター 〒980-0801 山形市青葉区 Tel: 024-649-0222 Fax: 024-649-0222 http://www.wideopen.jp
⑥ 山形県 広葉樹材利用促進センター	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	県産材の活用を促進し、木材の流通を支援する。	山形県 広葉樹材利用促進センター 〒980-0801 山形市青葉区 Tel: 024-649-0222 Fax: 024-649-0222 http://www.wideopen.jp

9

課題③ 広葉樹の搬出運搬には補助金が無い

スギヒノキの伐採搬出に比べると

- ・広葉樹は伐採搬出作業が難しく、より経費がかかる
- ・いい材でも、市場など適正価格で取引できる相手がいない
- ・パルプや発電用では採算が取れない



広葉樹のつるし伐り 10

↓
補助事業の実施

10

県央センター企画事業「広葉樹材利用促進事業」


- 実施年度 ・令和4～5年度
- 事業内容 ・県央地域で伐採された広葉樹材の搬出、運搬、加工に要する経費を支援
- 実施主体 ・搬出実績が200m³/年以上ある、県央管内の認定林業事業者
- 補助対象 ・末口径20cm以上の広葉樹等
・資源として、木製品や薪等に有効活用するもの
・県央地域で伐採され、加工されるもの

11

11


広葉樹材利用促進事業

加工所等の土場に積積み

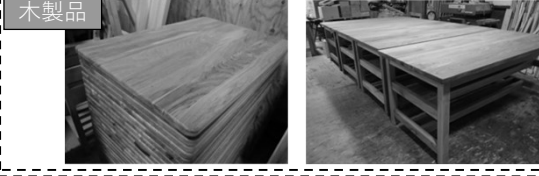


↓

検知（搬出材積確認）




木製品



↓

パレットや結束して販売



12

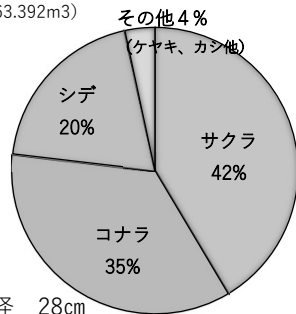
12

広葉樹材利用促進事業

• 補助実績 R4 47.436m³、R5 81.066m³

R4 樹種別内訳

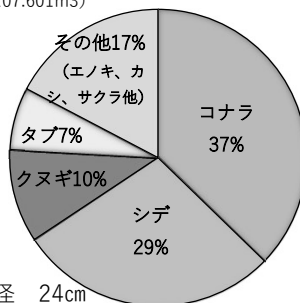
(搬出 63.392m³)



平均直径 28cm

R5 樹種別内訳

(搬出 107.601m³)



平均直径 24cm

13

広葉樹材利用促進事業

取組成果



- 市町村等の緑地管理部局に周知することで、広葉樹材を資源として扱う意識の変化を促すことができた
 < 林業関係以外の現場からの搬出 >
 - 相模原市（中央区、南区）の緑地整備、市施設内のナラ枯れ木
 - 綾瀬市の緑地整備伐倒木
 - 県施設（海老名市、厚木市）の危険木伐採の伐倒木
- 相模原市学習机天板交換事業用の広葉樹材不足が解消された
- 厚木市の木材利用・普及の取組として、中学校図工室に広葉樹の机と椅子が納品された（R4～）

14

広葉樹材利用促進事業

- 他地域の林業事業者、木材加工施設からも要望あり
- 薪の販売が順調なので、もっと広葉樹を搬出したい（補助金をもっとほしい）
- 県央地域だけでなく、他地域にも販売したい
- 林業事業者だけでなく、地域の森林活動団体やしいたけ原木生産者など、広葉樹の活用に係る多くの関係者を支援したい



令和6年度より県全体の事業へ拡大

15

15

森林環境譲与税事業「広葉樹材活用支援事業」

- 実施年度 令和6年度～
- 事業内容 広葉樹材の搬出、運搬に要する経費を支援
- 実施主体 森林所有者、林業事業者、木材加工事業者等を含め幅広く支援
- 補助対象
 - 立木の状態で胸高直径10cm以上の広葉樹等
 - 資源として木製品や薪等に有効活用するもの

16

16

さらに次の課題 「薪以外にもっと活用を広げたい！」

①広葉樹材の需給マッチング

- ・広葉樹は種類が多く形状も様々、そもそも流通していないので購入が困難
- ・どんな樹種や形状の材が売れるのか、供給側に購入希望者の情報が無い

伐採予定のある広葉樹の詳細調査を実施し、資源情報をWeb上で公開、需要と供給のマッチングを図る取組

②広葉樹おが粉の生産

17

17

新たな取組① 需給マッチング


県央センター企画事業「広葉樹材活用モデル事業」

- 実施年度 令和6年度～令和7年度（予定）
- 事業内容
 - ・ICTを活用した詳細な資源調査を実施
 - ・立木情報をWeb上のプラットフォームに公開し、需要と供給のマッチングを図る。
 - ・公開データの検証を行う

18

18

3D木材市場 Ⅱ版

まずはアクセスしてみてください 
<https://mokuichi.com/>「3D木材市場」で検索

神奈川県産の広葉樹材等（針葉樹材も含む）を必要としている方、インターネット上の木材マッチングサイト「3D木材市場」を使ってほしい材を探しませんか。

「3D木材市場」では木材を写真やキーワードで検索できます。



キーワードでほしい材を検索
「神奈川県産材」「つくいのき」「サクラ」等

オンライン上で自動計算
自分にあった一点もの
木材を見つけよう。

ハッシュタグからも検索可能

写真を
タップ

※「3D木材市場」は(株)マブレイが運営する木材マッチングサイトです。

19

19

広葉樹材活用モデル事業

(1) 相模原市南区麻溝台地内（こもれびの森）

- ・伐採予定 令和7年度以降に市事業で伐採
- ・データ公開 令和7年2月以降

樹種	本数	胸高直径(cm)	備考
ミズキ	84	18~64	
エノキ	29	18~72	
イチョウ	9	18~32	
クヌギ	4	24~32	
その他	4	18~32	コブシ、マツ、カシ



20

20

広葉樹材活用モデル事業

(2) 相模原市緑区青根地内

- ・伐採予定 令和7年2月以降
※補助事業により搬出
- ・データ公開 令和7年1月以降

樹種	本数	胸高直径(cm)	備考
コナラ	142	16~56	カシナガ被害少
シデ	31	10~34	
カエデ	9	12~42	
カヤ	9	12~30	
ミズキ	8	18~32	
その他	17	12~38	サクラ,モミ,カシ,ケヤキ,カミ



※現在調査結果を精査中のため、数量等は暫定的

21

21

新たな取組② 広葉樹おが粉生産

県産広葉樹おが粉による菌床しいたけの生産に向けた取組



菌床しいたけ生産



県産おが粉で菌床を生産して、
「オール神奈川県産」きのこを生産したい！

※しいたけ菌床の原料は「広葉樹のおが粉と米ぬかやフスマ」です

22

22

新たな取組② 広葉樹おが粉生産



チップパーによるおが粉の製造



県産おが粉で製造した菌床

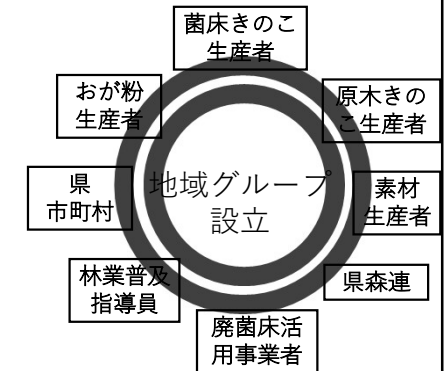
23

23

新たな取組② 広葉樹おが粉生産

「おが粉需給マッチング事業」

- ・地域グループの設立
- ・県産おが粉の需給調整
- ・県産おが粉を使った試験栽培
- ・廃菌床や廃ホダの活用



24

24

新たな取組② 広葉樹おが粉生産

菌床きのこ生産に使える主な広葉樹

- ・シイタケ ◎コナラ、クヌギ
 - シデ、シイ、カシ、タブ、ブナ、ミズナラ
 - ・ナメコ ◎シデ、サクラ、カエデ、クルミ、ブナ
- ※ヒラタケに限り、広葉樹のほかにスギ、ヒノキも可

コナラ、クヌギを集められる
かが成功の鍵！



25

25

身近な危険木



幹折れしたコナラ
(民家裏の山林内)



根元から倒れた
ナラ枯れ被害木
(飯山白山森林公園)

26

26

持続的な森林の保全のために



広葉樹林も「伐採→利用→更新」の循環が大切！

27

27



ご清聴ありがとうございました

さがみはら津久井産材公式ロゴ
「つくいのき」

28

28